

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

社会福祉法人 石心福祉会

医療法人社団 東京石心会

# 海燕

うみつばめ No.69 2015年11月

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男 発行：石心会本部

〒212-0013 川崎市幸区堀川町580番地

ソリッドスクエア東館4階

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

<http://www.sekishinkai.or.jp>

## 理念特集

### 石心会グループの理念を論ずる。

石井暎禧

石心会グループ代表

企業の寿命は30年と言われています。

なぜそうなのかというと、一般に言われているのは企業を立ち上げてきた世代から次世代へのバトンタッチが難しいことです。では何を次世代に継承すべきなのか？ 私は創業の理念なくなく基本理念こそが、第一義的に継承されるべきものだと思います。

石心会グループは今年で創業42年目を迎えました。そこで今般、私は石心会グループ（以下、法人と称する）が創業以来掲げ、守ってきた基本理念とは何かということを経営を時間をかけて検討しました。

基本理念とは、法人の基本的価値観であり、法人を取り巻く環境がいかに変わろうと大事に維持し、守り、引き継がれなくてはならない普遍的価値観です。そして、たどり着いた基本理念が **1. 「断らない医療」**  
**2. 「患者主体の医療」** の実践です。

#### 石心会は、理念経営を伝統とする法人です。

理念とは、法人の流儀です。法人をバスに例えるなら、このバスに乗る者は法人の流儀に沿って仕事をすることが要求されます。

なかんずく、「基本理念」に沿った仕事ができない職員は、たとえ高い業績を挙げたとしてもいずれバスを降

りてもらうしかありません。なぜなら我々は人の命を預かる仕事を生業としているからであり、組織が一丸となって人の命に向き合う必要があるからです。

#### 基本理念についての解説

##### 1. 断らない医療

##### (NO REFUSAL POLICY)

「断らない医療」を英語で表現すれば「NO REFUSAL POLICY」です。しかし英語の本場であるアメリカでは、医療の場でこのような言葉はほとんど使われることはありません。なぜなら診療を断ることは医療者の倫理にもとるだけでなく、違法であり厳罰が待っているからです。

日本においても、医師法において診療を断る事は違法となっています。しかし、現実にはさまざまな場面で断りが生じており、それが原因で患者が命を落としても、めったに罰せられません。

我々は、このような現実を変えようと、法人創立以来一貫として「断らない医療」を職員に説いてきました。そして今、救急医療の現場においてはこれに近い形を実現できています。

そこで我々は、この精神をさらに徹底させ、かつ世代を超えて引き継がれるよう、ここに基本理念として策定することにしました。

##### 2. 患者主体の医療

医療者は治療を必要とする患者と向き合った時、患者にとって最善の医療を施さねばならないことは議論の余地のない不動の原則あり、患者からの



信頼を得るために医療者は厳しい修練を怠ってはいません。しかし、その時忘れてはならないことは、治療とは決して医療者の独善で行うものでなく、病気を治そうとする患者の意志を尊重し、それに寄り添っ

た治療を行わねばならないということです。

「患者主体の医療」は、わが法人を取り巻く環境がいかに変わろうとも不変のもう一つの基本的価値観であり、わが法人の基本理念として採用する所以<sup>ゆえん</sup>です。

川崎市医師会誌寄稿記事より

## 「断らない」を続けて13年

山本晋 川崎幸病院副院長・川崎大動脈センター長

私が川崎幸病院に大動脈疾患治療のための大動脈センターを作ったのが2003年、それ以来13年間、ただ一つのことに徹してきました。それは、「断らない」ということです。

急性大動脈解離の手術治療は、今でも常時受け入れてくれる病院はありません。近隣の病院からの手術依頼を川崎幸病院が断れば、おそらく次の病院を見つけることはほとんど不可能であると常に考えてきました。たとえば病院が満床でも、救急車で急変するよりは病院の救急室で急変する方が“ましな対処”ができるはずです。開設当時は認知されていなかった大動脈センターでしたが、2-3年もすると神奈川県下でも「大動脈疾患なら川崎幸病院」という評判が少しずつ浸透してきました。

当時の大動脈センターは、わずか3名の医師で当直も含めすべての手術をやりくりしていました。理由は敢えて言いませんが、特に盆暮れ正月（それにクリスマスイブ）には、当院への手術要請が集中します。ある年の大晦日から元旦にかけて私は2件の緊急手術を立て続けに行っていました。そこにさらなる緊急手術の依頼があり、ICUにいた当時のレジデントは「これ以上は無理」と、その要請を断ってしまいました。

手術が終わりそのことを聞かされた私は、それまで苦勞して積み上げてきた「川崎幸は断らない」という信頼を、このたった一回の「断り」ですべて失ってしまうのではないかと考え、愕然としたことを覚えています。

「断らない」には、もう一つの意味があります。川



崎大動脈センターに手術を依頼される患者の多くは、それまでいくつかの病院（あるいは大学病院）で手術を「断られた」患者たちです。高齢だから、ハイリスクだから、難しい手術だからという理由で手術を断られる患者は後を絶ちません。患者の安全より医者の安全が優先されています。

川崎大動脈センターは批判を恐れず、どんな手術患者も受け入れることを<sup>うた</sup>謳っています。スタッフが日々の鍛練を欠かさず、ハイリスク・高難易度の手術を引き受けることができる技術を磨くことが、患者の信頼と安全を手に入れる唯一の方法だと考えています。

川崎幸病院は今、「No refusal policy」を根本理念に掲げて「断らない医療」の実践に全力で取り組んでいます。2012年に運用を開始した「ドクターカー」の要請は年を追うごとに激増しています。また、予定手術を含めた手術件数も年々増加し、大動脈センターの2つの手術室は月曜から土曜まで常に満杯です。当初は2名だった心外医師も今では13名となり、来年も新人が入局予定です。たった一つの「断らない」ということにこだわり続けた結果が、今日の充実した川崎大動脈センターを成す最大の要因であったとつくづく思います。KISS (Keep It Simple, Stupid)、これからも「断らない」を黙々と続けていくつもりです。

川崎幸病院・川崎大動脈センター

## 胸部大動脈手術3000例記念祝賀会



山本センター長(右)と林優美・コーディネーター



石井暎禧理事長



笹栗院長

川崎幸病院は、2003年に川崎大動脈センターを立ち上げ、新病院移転後3年の2015年8月24日に胸部大動脈手術件数が3,000例を記録しました。

10月10日川崎市内のホテルで、山本晋・川崎大動脈センター長が、これまでお世話になった先生方を来賓としてお招きして「胸部大動脈手術3000例記念祝賀会」を開催しました。

祝賀会は午後7時から始まり、全員で乾杯の後、石井暎禧・石心会理事長の挨拶に続き、山本センター長が来賓の方々を次々と紹介しました。

スピーチしていただいた来賓の方々は、細田泰之・

スピーチしていただいた先生方



細田泰之先生



新見能成先生



高梨秀一郎先生



伊藤翼先生



大北裕先生



## 読書の勧め

## 企業にとって理念とは何か？

辻田征男 社会医療法人財団 石心会専務理事

およそ名の知られた企業にとって、企業理念を定めていないところはないと言って過言ではない。それは、1995年に初刊本が発刊されたこの本の影響によるものが大きいと言える。

なぜなら、『ビジョナリーカンパニー（visionary company）』は、全世界で数百万部を売り上げた大ベストセラーのビジネス書であり、企業理念の大切さを説いた本だからだ。

今日の医療機関における理念も、まことに多種多様、言葉を尽くして語られている。それは医療機関が人の命を扱う業種であり、そこで働く者が一丸となって患者の命に向き合うことを期待しているからに他ならない。だが大半の企業における理念の扱いは、普段は省みられることなく死蔵されているように、医療機関においても少数の病院グループを除いて、それは病院機能評価の調査時に暗唱するお題目化していると言って間違いない。

しかし、ここに、理念の徹底こそが偉大な企業を作り上げる必須の条件であることを発見した研究成果がある。その研究成果を出版したものが『ビジョナリーカンパニー』である。

その特徴は徹底的に企業の生態を観察した記録であるが、その点で著者のジェームスC.コリンズ（スタンフォード大学ビジネススクールの研究者）らは、PFドラッカーの後継者と言われている。この著作の特徴は、良い企業と劣った企業とを比較したものではなく、飛び抜けた優良企業（ビジョナリーカンパニー）と普通の優良企業を比較したもので、言い換えればgreat companyにあってgood companyにないもの、それこそが基本理念の徹底であるとしているところにある。著者がいう基本理念とは、企業理念の中核をなす基本的価値観を指している。

それではこの本の言うビジョナリーカンパニーとは具体的にどんな企業を指すのか？ 著者は幾多の例を挙げているが、我々医療者になじみ深いものとしては、米国の製薬会社メルクアンドカンパニー（以下メルク社）の、基本理念の徹底的な追求が紹介されている。



## 『ビジョナリーカンパニー』

ジェームスC.コリンズ、  
ジェリーI.ポラス共著  
山岡洋一訳  
発行 日経 BP 出版センター  
定価 1942 円＋税

メルク社は、2015年度ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智博士との共同研究で1987年に開発したオンコセルカ症（河川盲目症）の特効薬イベルメクチンをアフリカ等の発展途上国の人々に無償でかつ自らの手で配付して2億人を盲目の病魔から救った。

メルク社の基本理念は「我々は人々の生命を維持し生活を改善する仕事をしている。全ての行動はこの目標を達成できたかどうかを基準に評価されねばならない」というものだ。

著者はこうした理念を徹底することと、利潤を産むことが相反事項でないばかりか、理念の徹底こそが巨大な富をもたらす例として第二次世界大戦後採算を度外視して、日本にストレプトマイシンを持ち込み結核を撲滅させたことと、後にメルク社が日本における米系最大手の製薬会社になったこととは決して偶然ではないとしている。確かにこのようなメルク社の献身が、日本市場を支配しようとする打算抜きで行われたわけではないことは当事者も認めているところである。著者はこうした企業を「現実的な理想主義」と評している。

今日メルク社は8万人の従業員を抱える企業として全米2位の製薬会社に成長している。だが、メルク社にもたらされたものは莫大な富だけであろうか？ 否、世界中の人々からの尊敬のまなざしもまた何物にも代えがたい彼らの財産になったのである。

本書は全5巻で構成されておりそのボリュームからいささか取っ付きにくいかもしれない。だが、翻訳者の山岡洋一氏の名訳で案外スラスラと読めてしまう。まずは第1巻にトライしてみてほしい。

## 学会発表一覧（2015.8～2015.9）

## ◆川崎幸病院

## 学会発表

## 診療部

## 【国際学会】

| 発表者  | 部署 | 期間          | 学会名                                                                   | 演題名                                                                            | 開催地      | 発表形態  |
|------|----|-------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|----------|-------|
| 山崎将人 | 外科 | 2015.9.8～12 | Jubilee World Congress to The 80th Anniversary of Founding of The ICS | 「Endoscopic Necrosectomy Infected Walled-Off Necrosis After Pancreatic Injury」 | ブラハ（チェコ） | 一般・口演 |

## 【全国学会】

|      |        |               |                                                                       |                                                                                                                       |    |       |
|------|--------|---------------|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| 藤川拓也 | 心臓血管外科 | 2015.9.5～6    | The 2015 Annual Meeting of Taiwan Society for Vascular Surgery (TSVS) | 「Improving Operative Result of Conventional Total Arch Replacement: The Examination of 1,008 Cases in Twelve Years」   | 台湾 | 一般・口演 |
| 山崎継敬 | 循環器内科  | 2015.7.30～8.1 | 第24回日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT2015)                                     | 「The Effectiveness of Catheter Embolization of Pelvis Arteriovenous Malformation in a Patient with Serious Leg Edema」 | 福岡 | 一般・口演 |

## 【地方学会】

|      |       |              |                                  |                                            |     |             |
|------|-------|--------------|----------------------------------|--------------------------------------------|-----|-------------|
| 伊藤賀敏 | 循環器内科 | 2015.9.30    | 第3回かわさき救急フォーラム                   | 当院におけるERの現状と院内心停止の取り組み                     | 川崎  | パネルディスカッション |
| 上野明彦 | 循環器内科 | 2015.9.5     | 第54回神奈川不整脈研究会                    | 電気的除細動抵抗性心房細動に対して左房前壁アブレーションが有効であった1例      | 横浜  | 一般・口演       |
| 山崎継敬 | 循環器内科 | 2015.9.18    | アブレーション治療連携セミナー                  | 当院における心房細動アブレーションの現状                       | 川崎  | 一般・口演       |
| 片山直彦 | 麻酔科   | 2015.9.5     | 日本麻酔科学会東海北陸支部第13回学術集会            | 帝王切開における硬膜外麻酔の薬剤組成の検討                      | 名古屋 | 一般・口演       |
| 沖田竜治 | 泌尿器科  | 2015.9.25    | 第80回日本泌尿器科学会東部総会                 | 成人男性の加齢による性ホルモンの変化とアルブミン値との関係              | 東京  | 一般・口演       |
| 左近龍太 | 外科    | 2015.9.26    | 第143回神奈川県臨床外科医学会集談会              | 十二指腸に穿破した胆嚢動脈瘤の一例                          | 横浜  | 一般・口演       |
| 壺井祥史 | 脳外科   | 2015.9.19    | 第23回神奈川脳神経外科手術手技研究会              | ギリアテルによる chemical encephalitis が疑われた脳腫瘍の一例 | 横浜  | 一般・口演       |
| 長山剛太 | 脳外科   | 2015.8.28～29 | 第34回 The Mt.Fuji Workshop on CVD | Solitaire FR 認可後の当科における急性期血行再建術            | 神戸  | ポスター        |

## 看護部

|       |      |              |                           |                                                               |    |         |
|-------|------|--------------|---------------------------|---------------------------------------------------------------|----|---------|
| 甲斐明美  | 看護部  | 2015.9.11～12 | 第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 | 看護師交流集会 口から食べることをサポートするための包括的支援スキル～KTバランスチャートを用いた展開～困難場面の援助技術 | 京都 | 一般・口演   |
| 甲斐明美  | 看護部  | 2015.9.11～12 | 第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 | 口腔機能管理運用の成果と課題 ～口腔機能管理から摂食機能管理へ～                              | 京都 | 一般・口演   |
| 甲斐明美  | 看護部  | 2015.9.11～12 | 第21回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 | 脳出血再発後に3食経口摂取を再獲得した要介護高齢者の症例 ～KTバランスチャートを用いての評価と介入～           | 京都 | ポスター    |
| 石川達久  | 手術室  | 2015.9.8～9   | 第46回日本看護学会看護管理学術集会        | 看護師の組織帰属文化・意識に関する文献検討                                         | 福岡 | ポスター    |
| 新井淳一郎 | 救急外来 | 2015. 8.29   | 第9回神奈川カテ室メディカル研究会         | 「PCIの基礎から知ろう」ケーススタディ 1.緊急カテーテル2.カテ中の急変                        | 横浜 | コメンテーター |

## コメディカル部

|      |      |              |                     |                                |    |       |
|------|------|--------------|---------------------|--------------------------------|----|-------|
| 長澤洋一 | CE 科 | 2015.9.26    | 日本体外循環技術医学会関東甲信越地方会 | 川崎幸病院における体外循環前の術前評価            | 東京 | 一般・口演 |
| 中孝文  | 放射線科 | 2015.8.23    | 第3回 Body DWI研究会     | Body DWIのポイントやpitfall          | 東京 | 一般・口演 |
| 中孝文  | 放射線科 | 2015.9.10～12 | 第43回日本磁気共鳴医学会       | 頭部におけるComputed DWI(cDWI)の基礎的検討 | 東京 | ポスター  |

## 論文・教科書執筆等

## 看護部

| 発表者  | 部署  | 雑誌名                                                         | タイトル                                 | 分類 |
|------|-----|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------|----|
| 甲斐明美 | 看護部 | 口から食べる幸せをサポートする包括的スキル ～KTバランスチャートの活用と支援～<br>【医学書院】発行2010年9月 | 第5章 「困難場面での援助技術」 食事(特に飲み込みまで)に時間がかかる | 書籍 |

|           |    |           |                                  |                |     |      |
|-----------|----|-----------|----------------------------------|----------------|-----|------|
| ◆川崎幸クリニック |    |           |                                  |                |     |      |
| 学会発表      |    |           |                                  |                |     |      |
| 診療部       |    |           |                                  |                |     |      |
| 【地方学会】    |    |           |                                  |                |     |      |
| 発表者       | 部署 | 期間        | 学会名                              | 演題名            | 開催地 | 発表形態 |
| 杉山孝博      | 内科 | 2015.9.5  | 神奈川県医師会主催                        | 認知症の理解と援助      | 横浜  | 講演   |
| 杉山孝博      | 内科 | 2015.9.21 | ベネッセスタイルケアの20周年記念事業 地域医療・介護フォーラム | 認知症 ケアの現状とこれから | 東京  | 講演   |

|        |     |          |                 |                                                      |    |      |
|--------|-----|----------|-----------------|------------------------------------------------------|----|------|
| 看護部    |     |          |                 |                                                      |    |      |
| 【全国学会】 |     |          |                 |                                                      |    |      |
| 田邊真由美  | 看護科 | 2015.9.2 | 第46回日本看護学会慢性期看護 | 経口抗がん剤治療患者の手の爪の亀裂と二枚爪改善へ向けた取り組み<br>～白色ワセリンを用いたセルフケア～ | 福島 | ポスター |

|           |    |                      |  |                       |    |  |
|-----------|----|----------------------|--|-----------------------|----|--|
| 論文・教科書執筆等 |    |                      |  |                       |    |  |
| 診療部       |    |                      |  |                       |    |  |
| 発表者       | 部署 | 雑誌名                  |  | タイトル                  | 分類 |  |
| 杉山孝博      | 内科 | 主婦の友社                |  | 親の認知症に気づいたら読む本        | 書籍 |  |
| 杉山孝博      | 内科 | 月刊保険診療 Vol.70 (No.9) |  | 地域医療の現場から“地域包括ケア”を考える | 雑誌 |  |

|         |       |           |                                                     |                                                                                                         |     |       |
|---------|-------|-----------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------|
| ◆埼玉石心会病 |       |           |                                                     |                                                                                                         |     |       |
| 学会発表    |       |           |                                                     |                                                                                                         |     |       |
| 診療部     |       |           |                                                     |                                                                                                         |     |       |
| 【国際学会】  |       |           |                                                     |                                                                                                         |     |       |
| 発表者     | 部署    | 期間        | 学会名                                                 | 演題名                                                                                                     | 開催地 | 発表形態  |
| 山根正久    | 循環器内科 | 2015.9.3  | 9th Qianjiang International Cardiovascular Congress | PCI strategy for complex CTO lesions                                                                    | 中国  | 一般・口演 |
| 山根正久    | 循環器内科 | 2015.9.18 | Euro CTO Club                                       | An update on specific advantages of different new guidewires for both antegrade and retrograde approach | トルコ | 一般・口演 |

|        |         |              |                                        |                                                                      |    |       |
|--------|---------|--------------|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----|-------|
| 【全国学会】 |         |              |                                        |                                                                      |    |       |
| 畠信哉    | 循環器内科   | 2015.9.4～5   | SAPPORO LIVE DEMONSTRATION COURSE 2015 | 6Fr system にGuidezilla を挿入した状態で OFDI を施行し LCX 近位部が解離した一例             | 札幌 | 一般・口演 |
| 黒木崇文   | 循環器内科   | 2015.9.4～5   | SAPPORO LIVE DEMONSTRATION COURSE 2015 | 高齢者に発症した Spontaneous coronary artery dissection(SCAD) による急性心筋梗塞の治療経験 | 札幌 | 一般・口演 |
| 中村靖    | 乳腺内分泌外科 | 2015.8.21～22 | 第16回乳癌最新情報カンファランス                      | 化学療法中に繰り返すS状結腸憩室炎の発症を契機にベグフィルグラスチム(ジールスタ)併用を施行した1例                   | 福岡 | 一般・口演 |
| 中村靖    | 乳腺内分泌外科 | 2015.9.19～20 | 第35回日本乳腺甲状腺超音波医学会                      | 術後反回神経麻痺を超音波検査で評価し得た1例                                               | 盛岡 | 一般・口演 |
| 山崎美保子  | 放射線科    | 2015.9.18    | 第308回BODY-CT研究会                        | CA19-9軽度高値の70歳代女性                                                    | 東京 | 一般・口演 |
| 岡本信也   | 緩和医療科   | 2015.9.18～19 | 第28回日本サイコオンコロジー学会                      | 緩和ケア病棟におけるせん妄発症の状況                                                   | 広島 | 一般・口演 |
| 鈴木康弘   | 心理相談科   | 2015.9.18～20 | 日本心理臨床学会第34回秋季大会                       | 総合病院の外来における心理臨床のニーズ                                                  | 神戸 | ポスター  |

|        |      |           |                             |                                                           |      |       |
|--------|------|-----------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------|------|-------|
| 【地方学会】 |      |           |                             |                                                           |      |       |
| 土岐和芳   | 麻酔科  | 2015.9.5  | 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第55回合同学術集会 | 超高齢者(85歳)の大腿骨頸部骨折における脊髄くも膜下麻酔時の0.5%等比重ブピバカインの至適投与量についての検討 | 横浜   | ポスター  |
| 山田哲也   | 整形外科 | 2015.9.26 | 第58回埼玉手外科研究会                | 手術治療を要したLinburg-Comstock anomalyの1例                       | さいたま | 一般・口演 |

|         |     |            |                        |                           |      |      |
|---------|-----|------------|------------------------|---------------------------|------|------|
| コメディカル部 |     |            |                        |                           |      |      |
| 卯月博和    | 薬剤室 | 2015.8.1～2 | 日本病院薬剤師会関東ブロック第45回学術大会 | 地域に密着した医療のために～薬業連携への取り組み～ | つくば市 | ポスター |

|       |     |              |            |                              |    |       |
|-------|-----|--------------|------------|------------------------------|----|-------|
| 看護部   |     |              |            |                              |    |       |
| 森崎紀代美 | 看護部 | 2015.8.28～29 | 第17回日本褥瘡学会 | 当院におけるオピオイド使用がん患者の褥瘡発生の現状と対策 | 仙台 | 一般・口演 |

|      |     |            |                |                                                     |     |      |
|------|-----|------------|----------------|-----------------------------------------------------|-----|------|
| 発表者  | 部署  | 期間         | 学会名            | 演題名                                                 | 開催地 | 発表形態 |
| 田中郁美 | 看護部 | 2015.9.8～9 | 第46回日本看護学会看護管理 | 緩和ケア病棟の患者・家族に好まれるカラーユニホームの実態調査<br>～患者・家族の思いに焦点を当てて～ | 福岡  | ポスター |

|      |         |              |                    |                  |    |       |
|------|---------|--------------|--------------------|------------------|----|-------|
| 事務部  |         |              |                    |                  |    |       |
| 高田賀将 | 診療情報管理室 | 2015.9.17～18 | 第41回日本診療情報管理学会学術大会 | 救急入院となった施設入所者の分析 | 岡山 | 一般・口演 |

|           |     |                                   |  |                           |     |  |
|-----------|-----|-----------------------------------|--|---------------------------|-----|--|
| 論文・教科書執筆等 |     |                                   |  |                           |     |  |
| コメディカル部   |     |                                   |  |                           |     |  |
| 発表者       | 部署  | 雑誌名                               |  | タイトル                      | 分類  |  |
| 秋山好美      | 栄養室 | ヒューマンニュートリション栄養管理の症例と実践 2015.No36 |  | 経腸栄養管理における水分・電解質管理のリスクと対応 | その他 |  |

|             |      |              |                 |                               |     |       |
|-------------|------|--------------|-----------------|-------------------------------|-----|-------|
| ◆さやま総合クリニック |      |              |                 |                               |     |       |
| 学会発表        |      |              |                 |                               |     |       |
| 【全国学会】      |      |              |                 |                               |     |       |
| 発表者         | 部署   | 期間           | 学会名             | 演題名                           | 開催地 | 発表形態  |
| 町野守         | 口腔外科 | 2015.9.18～19 | 第25回日本口腔内科学会    | plasma cell mucositisの1例      | 大阪  | 一般・口演 |
| 谷平梨美        | 外来   | 2015.9.2～3   | 第46回日本看護学会慢性期看護 | ストマ外来の現状と課題 ～ストマ外来と病棟の連携を考える～ | 福島  | ポスター  |

|          |            |           |                           |                                |    |    |
|----------|------------|-----------|---------------------------|--------------------------------|----|----|
| ◆新緑脳神経外科 |            |           |                           |                                |    |    |
| 学会発表     |            |           |                           |                                |    |    |
| コメディカル部  |            |           |                           |                                |    |    |
| 井上光広     | 放射線治療品質管理室 | 2015.9.26 | 第2回 VISICOIL ユーザーズ・ミーティング | VISICOILを用いたCyberKnifeによる肺がん治療 | 東京 | 講演 |

|              |       |             |  |                                  |    |  |
|--------------|-------|-------------|--|----------------------------------|----|--|
| 論文・教科書執筆等    |       |             |  |                                  |    |  |
| 診療部          |       |             |  |                                  |    |  |
| 発表者          | 部署    | 雑誌名         |  | タイトル                             | 分類 |  |
| 豎月順也<br>日暮雅一 | 脳神経外科 | 脳卒中 Vol. 37 |  | 動脈瘤による神経圧迫がなく動眼神経麻痺を呈したくも膜下出血の1例 | 査読 |  |

